

ふき た さ と 吹田の郷

◆発行/すいた市民環境会議 ◆代表/小田忠文 ◆事務局/☎ 564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-319-0630小田 (午後6時以降)
◆年会費/1000円 ◆振り込み先/00980-3-28845 すいた市民環境会議

《すいたの古木・大木》の本ができました

この本は、「すいた市民環境会議」「吹田自然観察会」「吹田の市民」が参加し、『みんなで作り上げた』ものです。是非お手元に1冊いかがですか。

夏月 日 発行 日

1998年(平成10年)6月6日 土曜日

緑の財産「大木」11本リストアップ

吹田市内で幹回りが二層以上ある大木の分布調査をしていた市民グループ(すいた市民環境会議)(小田忠文会長)は、七カ月間で四百二十本の樹木を見つけた。このほど調査結果を「すいたの古木・大木マップ」と冊子にまとめた。最も背の高い木は、吹田市藤も背の高い木は、吹田市藤白台五丁目の千里北公園にあるポプラで三十三・六メートルだった。環境会議は、大木をたどりながら散策するコースを冊子に盛り込み、「身近な自然環境を見つめ直すきっかけになれば」と話している。

昨年三月に発足した環境会議は、自然が少なくなる吹田市で緑の財産を記録しようとして、「吹田自然観察会」(浅田都司男会長)と共に八月に大木調査を始めた。根本から一・三メートルで幹回りが二層以上の樹木を対象にした。

その結果、クスノキが四十七本と全体の三五%を占め最も多かった。サクラ

すいた市民環境会議 散策道つきマップ製作

樹高ベスト3はポプラが占め、いずれも三十メートルを超えていた。大木の約一割に当たる四十七本が、千里山東三丁目の関西大学キャンパスに集中していることも分かった。幹回りが十メートルを超える最大のクスノキが関大の簡文館前であった。冊子には、全樹木の所在地や高さ、幹回りなどを記録し、「北千里みち」「江坂みち」など、大木を見ながら二、三時間で歩ける散策コースも紹介している。A5判、八十六で千五百部を発行。一部五百部。樹木分布を色分けして載せたマップは、A3判で三千部発行、

吹田市内で幹回りが二層以上ある大木の分布調査を... (四十一本)、アベマキ(四十本)、エノキ(三十本)、ポプラ(十九本)と続き、全部で三十八種類あった。



吹田市内の大木を網羅した「すいたの古木・大木マップ」と冊子

『冊子とマップ』1セットで 500円+送料240円= 740円
『冊子とマップ』2セットは1000円+送料390円=1390円

『マップ』のみは1枚100円です。3枚まで送料140円
それ以上の方は別途ご連絡下さい。

郵便振替でお送り下さい。通信欄に希望部数、電話(&FAX)番号記入して下さい。届きだい発送します。

加入者名：すいた市民環境会議 口座番号：00980-3-28845

すいた市民環境会議が発足して1年が過ぎました。

昨年の設立集会で活動方針として挙げた三点で見ますと次のようになります。

①『自主的に活動し、ネットワークを広げる』では

会員の皆様からの情報をもとに、吹田市内の古木・大木を調査し、幹回り2メートル以上の大木を420本記録、冊子を発刊したことがビッグなイベントでした。また市内のウォッチング、琵琶湖博物館見学などを行い、幹事会では環境アセスメントやNPO法案について勉強会をしました。

②『施策の計画段階で行政と話し合い、環境行政の一角に参画』では

吹田市環境審議会、緑化誘導マニュアル委員会、吹田市都市景観デザイン委員会にすいた市民環境会議から幹事を推薦し、審議に参画しています。

また、今日のありきたりの公園ではなく、人間以外の生き物とともに楽しめる公園を作る計画にも提言、提案してきました。今後の活動の基本的なスタイルが出来つつあると思います。

③『開かれた幹事会』は、毎月 第三 土曜日午後、市民会館で行っています。

会員の皆様、御遠慮なく参加して下さい。発言も自由です。

◇ 反省点として会員が参加する行事が少なく「すいた市民環境会議は何をやっているの」との思いをされた会員の方々もおいでのことでしょう。

◆ 『98年度の活動計画』では会員の他、市民も参加できる行事を考えていますので是非ご参加お願いします。

古木大木の冊子にある『散策みち』を歩いて自分の住んでいる吹田を知り、愛して下さい。「自分のまち」に誇りを持ち、「自分のまち」で安らぎ、うるおう、そんな吹田市にするために「すいた市民環境会議」ができたのです。

現状を知ることから始めましょう。そして市民一人ではできないことを行政や事業者と話し合い、理解し合い、次の世代の人たちが誇れる吹田にしたいものです。

5月31日の第二回総会で新幹事が承認され、その後の幹事会で役員が昨年度と同じメンバーに決まりました。また一年間よろしくご協力をお願いいたします。



《 第二回総会報告 》

- ◆ 1998年 5月31日(日) 午後 2時～ 4時 市民会館大集会室
- ◆ 総会成立
会員総数 131人／出席会員 46人／委任状 26通／合計72人 会員以外の出席 2人
- ◆ 10人の来賓の方が出席して下さいました。(敬称略)
衆議院議員＝藤村 修
大阪府会議員＝阿部誠行・阪口善雄
吹田市会議員＝福家隆之(議長)・生野秀昭・寺尾恵子・西川巖穂・藤木裕輔・吉田勝
吹田市生活環境部＝成田靖穂

◇総会の模様は、吹田ケーブルテレビが取材し、6月5日から一週間放映されました。

- ◆以下二件が承認されました

新幹事 (27名)

秋山こずえ／熱田 克子／浅田都司男／池上 慶子／石田富佐吉／石原みずき／上口 勝
小田 忠文／小田 信子／加藤 恵子／加藤 俊二／喜田久美子／草野 弘靖／小室 巧
佐藤 和子／菅原 節子／高畠耕一郎／土志田新八／中村小夜子／西尾 熱子／橋本徹也
平 軍二／松岡 要三／水川 晶子／三輪 信哉／山田 國広／吉村 哲彦

規約改正

第三条 [会員] 本会の構成員は、前条の目的に賛同し原則として吹田市民あるいは、
吹田市内に勤務する個人および吹田市内の法人とする。

ただし、決議事項に関しては一法人につき一票とする。

第五条 [運営費用] 本会の運営と活動は会費と寄付により行う。

会員は年会費を納入しなければならない。

年会費は 個人1000円 法人10000円

◇総会終了後の懇親会には53人が出席し意見交換をしました。



吹田の生き物調査

吹田市内の自然が急速に減少していることは、日々、吹田で生活をしている私たちの気がかりなことのひとつです。

そんなあれこれを考えるきっかけになることを期待しつつ、今年の「古木・大木調査」をおこないました。散策コースで皆さんと歩く計画がありますが、木を見るだけでなく「みどり」の量、質、住民の対応、そして景観としての「まちなみ」を考えながら歩きたいものです。

今年度はホタル・ツバメ・ため池を計画しました。

昨年度、吹田市は環境基本条例を制定しましたが、どんな生き物がどのように吹田に存在しているのか、データがありません。このままでは自然の保全どころか、吹田市には、どんな生き物がいたかの記録もないまま絶滅していきます。すいた市民環境会議は保全するだけでなく、回復させてみたいものだと思っています。万博公園では昆虫類が戻っているそうです。皆さん、あきらめずに行動しましょう。

ホタル 今年度の調査は終了、ホタルは毎年継続する予定です。詳細は6頁
ツバメの巣 ツバメは現在進行中です。ご協力下さい。詳細は7頁
ため池の生き物 ため池の生き物調査を8月～9月予定しています。

ため池の生き物調査隊員募集

一緒に調査に参加しませんか。

期間 8月～9月（うち数回でも可能です）

参加資格 すいた市民環境会議の会員で次の条件に合う人

- ・7月26日(日)か8月1日(土)の学習会に必ず参加できること
- ・植物や昆虫、鳥、魚の好きな人
- ・高校生以上

☆申込は電話で事務局の小田信子まで TEL&FAX 06-319-0630

ため池学習会

- ・7月26日(日) 13:00～17:00 吹田市民会館 持ち物(軍手・長靴・タオル)
- ・8月1日(土) 13:00～17:00 吹田市民会館 持ち物(軍手・長靴・タオル)



ため池のおたのしみ調査

みんなで楽しくため池の調査をしましょう

9月6日(日)予定・詳細は希望者に後日連絡(中学生以上)

申込締め切り 8月10日

☆申込はハガキで事務局まで ☎564-0032 吹田市内本町2丁目18-8

